



神内っ子

笠岡市立神内小学校 学校だより
令和3年10月8日 No.14

【笠岡東中学校区小中一貫教育 教育目標】
郷土を愛し、夢の実現に向けて高め合い、
たくましく生きる児童・生徒の育成
・進んで学ぶ子
・思いやりのある子
・元気な子
・ふるさと大好き神内っ子



体験活動から得られるもの

9月21日(火)に、3年生の総合的な学習の時間に、笠岡湾干拓地にある『希望園』へ見学に行きました。2500頭の牛を飼育しているだけあって、飼料トラックやフォークリフトが園内を走っている大きな施設でした。驚くことに、餌はアメリカ、カナダ、スペイン、オーストラリアなどから輸入しているということ、他には、飼料用トウモロコシと国内の豆腐やビール、醤油などの絞りかすを調合したもの、さらに、飼料用のトウモロコシを細かく粉砕して3か月程度発酵させたものを与えると消化によいという話を伺いました。仔牛が自分で粉ミルクを飲んでいる様子、時間が来ると乳牛が自分で建屋に来て並び、機械で搾乳される様子を見て、「わあー」「すごい。」の連続でした。子どもたちは、施設の方の話を一生懸命聞いて記録していました。質問も積極的にするなど、実際に体験すると物の捉え方の幅が広がります。快く受け入れてくださった『希望園』の方に感謝します。



*****ステキ・ステキ*****



★10月4日(月)の午前中は、5年生が白石島でシーカヤック体験を行いました。天気に恵まれ、穏やかな白石の海で、仲間と一緒にカヤックを漕ぎ、その後、貝拾いをしました。白石の海はとてもきれいでした。どうしてゴミがないのかについて話を聞くなど、総合的な学習の時間の貴重な体験ができました。学校に帰ってくると、疲れているだろうからと、なんと6年生が給食の準備を手伝ってくれました。…とってもステキな話です。



2日後、6年生の4校時の授業の終わりが遅くなりました。すると、今度は5年生の中から、「6年生の準備を手伝おう。」という声が出て、たくさんの児童が6年生の給食を手伝いました。…とっても温かくてステキな話です。



5年生は、シーカヤック体験の次の日に、今度は東村の海岸にカブトガニを探しに出掛けました。「カブトガニがいた、いた!」と目をキラキラ輝かせながら戻ってきました。生き生きした姿がとてもステキでした。



★8月の終わりのことですが、前 PTA 会長さんが学校に連絡をして来られ、教頭先生と一緒に運動場のテントにミストを設置していただきました。残暑が厳しい中、子どもたちにとってまさに潤いのミストになりました。ありがとうございました。

★10月2日(土)の午前中、「てくてく神島」の下見をしました。公民館長さんをはじめ、地域の方、PTA 幹事役員と学校関係者総勢十数名で、今年回るお堂を巡り、道に落ちている枝やゴミを拾ったり、道を塞いでいる木を切ったりしました。81番の白峰寺では、下草を刈ったり木を切ったりして、小学校も見通せる素晴らしい景色が見られるようになりました。案内して下さった地域の方からいろいろなお話を聞くことができ、とても楽しく有意義な下見になりました。

明日9日(土)の「てくてく神島」では、児童・保護者・教員・地域の方を含めて70名余りが参加予定になっています。密にならないようグループ分けをして時間差を設けて出発します。安全に十分気を付けて、自然に触れながら、神島の歴史を堪能してください。
